

# 野幌森林公園クマゲラー斉調査2026

## 調査結果報告 2026年3月31日発行



主催：野幌森林公園を守る会 共催：北海道博物館/野鳥お勉強会 協力：北海道野鳥愛護会

40回目となるクマゲラー斉調査は、湿った雪が降りたり止んだりの天候となりました。参加者は、今回も過去最高にせまる117人で、札幌や江別をはじめ、近郊の北広島、千歳、恵庭、岩見沢、美唄、当別のほか、東京からの参加者が集まりました。近年のネット時代を背景にこの時期のイベントとして定着した感があると同時に、リピーターさんの参加も多いと実感する開催となりました。そして何より調査を無事に終えられたことが最大の喜びとなり感謝に堪えません。

### ■調査方法など

調査日時：2026年3月8日（日曜日）

調査時間：11:00～12:00

調査方法：500mメッシュ（区画）による確認調査

調査参加：117人（一般参加・団体106人、当会スタッフ11人）（写真2）

メッシュカバー率：64.8%（70/108メッシュ）

### ■調査結果 4～5羽を確認！

目撃はエゾユズリハコース（28メッシュ）で、オスとメス2羽が同時に目撃されました（写真1）。その他は全て鳴き声による確認で、桂コース（1件）、中央線（2件）、開拓の村（1件）の4件でした。それら確認場所、時間、行動等から確認羽数を推定すると、本調査では4～5羽となりました（図1、図2）。

クマゲラー斉調査を始めた第1回（1987）からこの第40回の調査結果による確認羽数の平均は2.6羽です。各年におけるメッシュカバー率や気象条件などの影響があることはもちろんですが、クマゲラーは2016

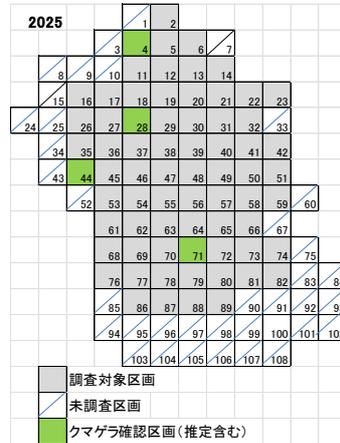


図2. クマゲラー確認メッシュ

写真1. 目撃されたクマゲラー

のオスとメス2羽のうち1年から増加傾向を示しているオス個体（28メッシュ）です。また、コロナによる休止があるものの、個体数としては概ね安定していると考えられます（図3）。今後はそれらを検証することが重要で課題でも考えています。

写真提供：吉井宏之さん

私たちはこれからもクマゲラーが安心して棲息できる環境の保護保全に努めたいと思います。

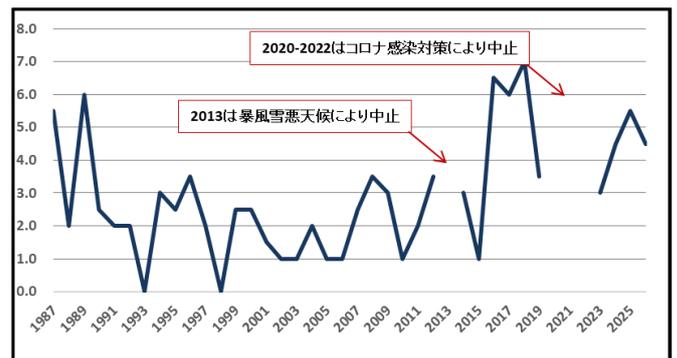


図3. クマゲラー確認羽数の推移

エリア	メッシュ (区画)	確認時間					雌雄	目撃	鳴き声	確認数	確認状況など
		10:30	11:00	11:30	12:00	12:30					
桂コース	4	11:10			■		不明	—	○	1	東方向からキョーンという声を聞いた
エゾユズリハコース	28	11:15-11:45			■		♂♀	○	—	2	採餌中の♂♀2羽を目撃。♂30分、♀40分の観察。それぞれに南方向に飛び立つ
中央線	28	10:26	■				不明	—	○	1	北東方向からコロコロ、キョーンの声があった
開拓の村	44	11:50				■	不明	—	○	1	遠くでキョーンの声があった(方向不明)
中央線	71	11:15			■		不明	—	○	1	北方向からコロコロの声があった

■ 目撃 ■ 鳴き声

図1. クマゲラー斉調査結果

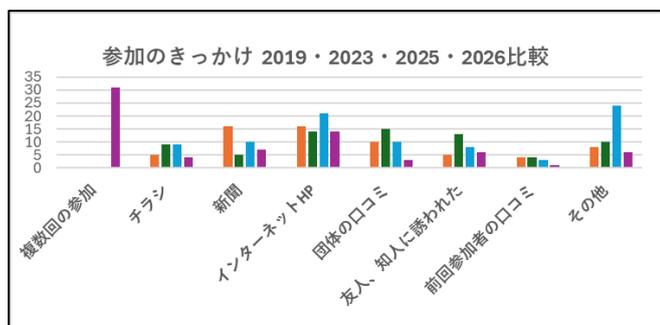


**写真2. 調査に参加された皆さん、はいチーズ！**

**■アンケート集計結果（概要）**

アンケートは、A 参加のきっかけ、B/C クマゲラのこと、D 当会の活動への協力について聞いてみました。回答は、配布 65 組・人のうちの 62 組・人（95.4%）と極めて高い結果が得られました。

A「調査をどのように知ったか？（複数回答）」では、昨年その他であがっていた「(1)毎回または過去に参加しているのを知っていた」を選択肢として新たに加えた。その後は例年と同じ(2)チラシ、(3)新聞、(4)インターネット HP、(5)団体の口コミ、(6)友人、知人に誘われた、(7)前回参加者の口コミ、(8)その他である。結果は、リピーターが多いことを反映して複数回参加が 31 人と多く、次いでインターネットが 14 人で、その他においては例年とほぼ同様な傾向がみられた。



B/C「クマゲラが好きか」では、(1)「大好き」48 人（77.4%）、(2)「まあ好き」11 人（17.7%）で 95%を超える極めて高い好感度を示した。具体的には、「大きく黒と赤でスタイリッシュ」、「豪快に木を突き強い印象がある」、「愛くるしい目や表情がかわいい」などのコメントが 58 件と多数寄せられた。

D「当会への活動等への協力について」は、(1)協力できる 45 人（72.6%）、(2)少しはできる 16 人（25.8%）、(3)わからない 0 人、(4)できない 0 人、(5)その他 1 人であり、極めて好意的な結果となった。具体的には「今後どのような活動になるかを知りたい。この調査以外

で人手が必要な調査などがあれば参加したい」や「森の自然を守る活動について、自分たちのできる範囲でお手伝いできたらと思う」など、心強いコメントが多数寄せられた。皆さんありがとうございました。

**■お知らせ**

**1 これまでの募集型「クマゲラー斉調査」は終了！**

今回の「クマゲラー斉調査 2026」の開会挨拶でもお伝えしたとおり、一般市民の皆さまにご参加いただいた募集型の調査は、事務局・スタッフの高齢化による人手不足に加え、近年の異常気象による大雪などの開催の不安定さ、さらに融雪期の雪穴やツリーホール落下などの事故リスクの懸念から、誠に残念ながら 40 回目を節目に終了することとなりました。

突然のご報告となり恐縮とは思いますが、事情をご理解いただければ幸いです。

今後は、規模を少し小さくした「クマゲラー斉調査」として、調査スタッフのほか、有志の方々（当会賛同者など）を募りながら、「コンパクトかつアカデミックに、そして効率よく、安全に、楽しく」を合言葉に調査を続けていきたいと考えています。

これまで本調査の開催趣旨にご賛同・ご協力を賜りました北海道博物館、野鳥お勉強会、北海道野鳥愛護会の皆さまには深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**2 クマゲラ写真展の開催（9月予定）**

クマゲラ保護の普及啓発の一環として、第9回クマゲラ写真展を9月の約1か月間、野幌森林公園自然ふれあい交流館で開催します。写真募集の詳細は当会ホームページ等でお知らせします。

編集／発行 野幌森林公園を守る会  
<https://www.facebook.com/noppo-roforestparkconservationgroup/>



Facebook